



2つの宝、3つの島
かごしまの奇跡

KAGOSHIMA **2つある**
世界自然遺産

屋久島
奄美大島・徳之島

南の宝箱
鹿児島



YAKUSHIMA

かごしまの2宝3島

屋久島／奄美大島・徳之島

世界自然遺産



AMAMI OSHIMA / TOKUNOSHIMA

KAGOSHIMA

2

5

NIPPON

日本では5地域が
世界自然遺産に
登録されています。

まさに
唯一有二の自然!

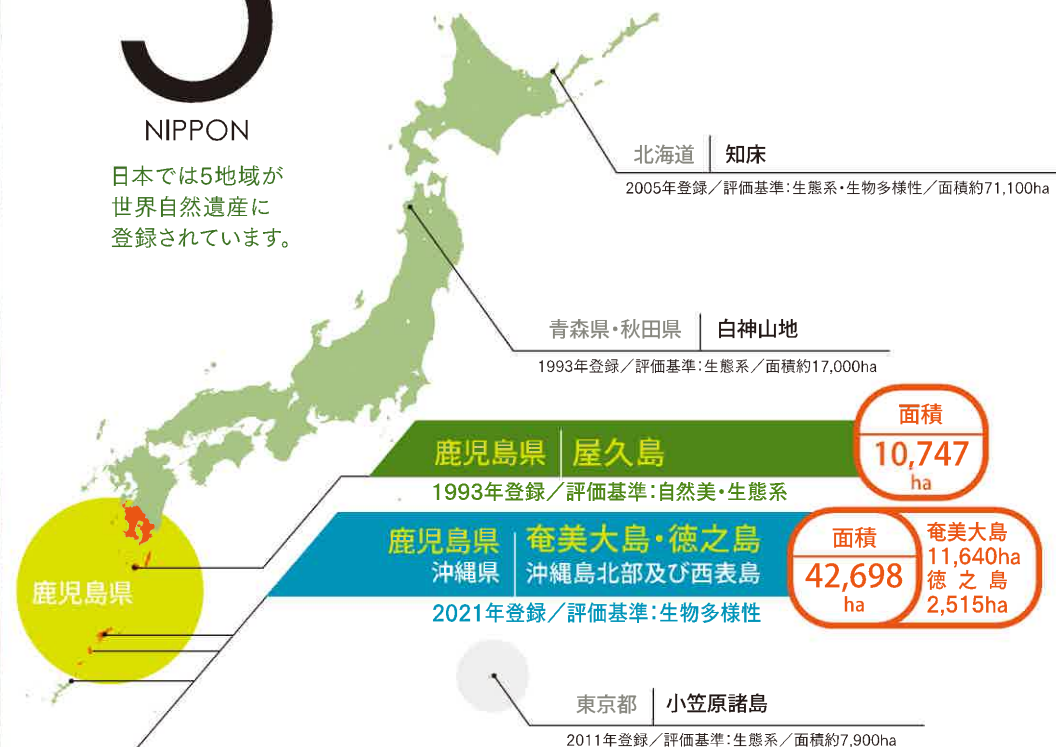
世界に認められた日本の5つの宝
そのうち2つが、ここ鹿児島県にある

「世界自然遺産」は、世界共通の財産として後世へと受け継いでいくべき、貴重な宝物です。

世界遺産条約に基づき、「地形・地質」「生態系」「自然美」「生物多様性」といった4つの評価基準に照らし合わせ、世界で唯一の価値を有する地域を、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が世界自然遺産に登録します。

鹿児島県は、日本ではじめて世界自然遺産に登録された「屋久島」と、日本列島南部に連なる島々「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（奄美・沖縄）」の2つの世界自然遺産を有する国内で唯一の県です。

世界自然遺産地域には、希少な動植物や景観など「世界のみんなで守らなくてはいけないもの」に沢山出会うことができます。地域の歴史や生態系を知り、他にはない“唯一有二”の自然を楽しみましょう。



屋久島

島の約90%が森林で覆われている屋久島は、宮之浦岳をはじめ、標高2,000mに迫る山が連なる山岳島で、海岸部から山頂部に及ぶ自然植生の垂直分布が連続的に見られます。また、「ひと月に35日雨が降る」といわれるほど雨が多く、この豊かな水が樹齢1,000年を超えるヤクスギを含む天然林を育てています。

登録年 1993年

登録エリア 10,747ha

登録評価

自然美

小規模な島だが、標高2,000mに迫る山岳があり、樹齢1,000年を超えるヤクスギの天然林が優れた景観を有していること

生態系

亜熱帯性の植物から冷温帯性の植物まで連続的に変化する植生が見られること

生物・固有種

ヤクシカ、ヤクシマザル、ヤクシマタゴカエル、ヤクシマシャクナゲ など

最高峰 宮之浦岳(1,936m)

九州最高峰の宮之浦岳を筆頭に、九州エリア標高上位1位～8位は屋久島にあります！

1,000m以上の山々が連なる屋久島は「洋上のアルプス」とも呼ばれています。九州最高峰の宮之浦岳をはじめ、標高1,800m以上の山岳が10座、1,000m以上の山岳が46座を数えます。

屋久島は日本の縮図？

屋久島の年間気温は、低地は鹿児島市・山頂は札幌市とほぼ同じ気温のため、屋久島の山を登ることで、日本列島を縦断するような植生変化を味わうことができます。この垂直分布は屋久島の魅力の一つであり、それぞれの気候帯で様々な植生を見ることができます。

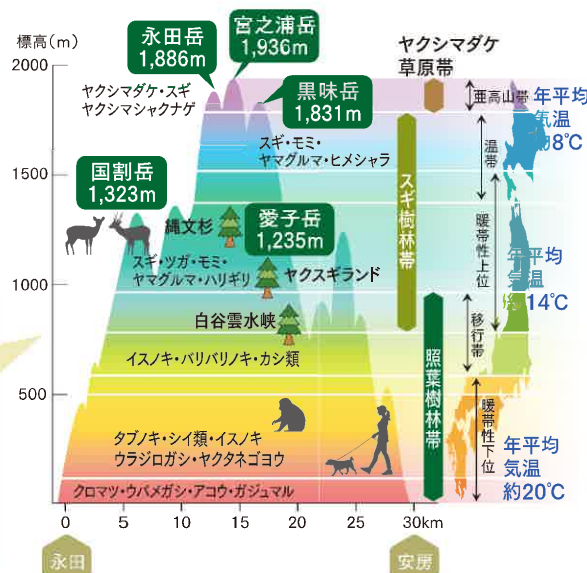
鹿児島県の2つの世界自然遺産 違いは？



point 高い山々が屋久島の魅力

1 から ~ 8 位

屋久島の植生垂直分布



point ここでしか見られない固有種

9 と 6 割



奄美大島・徳之島

奄美大島と徳之島は、かつてユーラシア大陸や日本本土と陸続きでしたが、約1,200万年前～約200万年前の頃の間で大陸から切り離され現在の形になりました。環境の変化に適応し、天敵がいなくなるなどしたことで生き残ることができた生き物が、ここにしか生息しない、希少な固有生物となり独特な生物相が見られます。

2021年

登録年

奄美大島 11,640ha

徳之島 2,515ha

登録エリア

登録評価

生物多様性

生物の種類が多く、固有性も高い。さらに絶滅危惧種の数や割合も多く、種の保存が1番大きな目的で登録された

生物・固有種

アマミノクロウサギ、アマミホシゾラフグ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、トクノシマトゲネズミ、ルリカケス、アカヒゲ、アマミイシカワガエル、オビトカゲモドキ、リュウキュウアサギマダラ、アマミエビ、アマミセイシカ など

奄美大島 湯湾岳(694m) 最高峰

徳之島 井之川岳(645m)

奄美大島と徳之島は 希少生物の宝庫！

奄美大島と徳之島は合わせても、日本の国土面積の0.26%ほどしかありません。ですが、生育・生息する国際的絶滅危惧種は動植物合わせて、奄美大島で47種、徳之島で29種、生育する維管束植物も、奄美大島で1,307種、徳之島で957種におよび多様です。またこれらの島に生息する両生類の約9割、陸生哺乳類・爬虫類の約6割は、ここでしか見られない種類です。世界的に見て、生物多様性ホットスポットである日本の中でも、奄美大島と徳之島は生物多様性が高く、また希少な動植物が生育・生息する地域です。



2つの世界自然遺産 地史ナビゲーション

Geological History



屋久島と奄美群島の人々の暮らし・文化は、豊かな自然と向き合いながら長い歴史の中で育まれてきました。

屋久島には「山に十日、海に十日、野に十日」という伝えがあり、必要な分だけを自然から恵んでもらう生き方、豊かな自然と人が深く結びつき、自然を損なうことなく生活の糧を得る生活が営まれてきました。

屋久島は「植生の垂直分布」が見られることが最大の特徴となっています。海岸部では、アコウやガジュマル、シダなどの亜熱帯植物。山間部の標高800m付近まではスダジイ、ダブノキなどの照葉樹林帯が広がり、島の西部は世界自然遺産登録地の核心部を形成しています。標高800m～1,800mでは、スギ、ツガ、モミ、ヤマグルマなどのスギ樹林帯や高層高原が見られ、標高1,800m以上では、ヤクシマダケやヤクシマシャクナゲなどの草原帯が広がっています。屋久島のスギは、樹齢1,000年以上を「屋久杉」、それ以下は「小杉」。また戦後植林した杉は「地杉」と呼ばれ、屋久島

の時間軸を物語っています。

屋久島に伝わる信仰行事に「岳参り」があります。御岳（宮之浦岳）に祀られている「一品法寿大権現」に、集落の繁栄を祈り、その成就を感謝する行事です。各集落の代表者が、それぞれ前岳（各集落の頭上にそびえる山々）と奥岳（宮之浦岳、永田岳、栗生岳、黒味岳）に登り、お供え物を捧げます。

屋久杉の巨木も信仰の対象として伐採されることはありませんでしたが、安土桃山時代から特別な建造物に使われるようになり、16世紀に島津家の直轄地になると広く利用され始めました。明治以降は大部分が国有林となり、1950年代～1960年代には大量に伐採されました。その後、環境保護問題が顕在化し伐採が大幅に削減され、1993年の世界自然遺産登録以後、全面禁止になりました。

奄美大島と徳之島は約1,200万年前～約200万年前に海面が上昇して大陸や九州と切り離され、次に、屋久島と口之島の

間、沖縄島と宮古島の間が分断されたと考えられています。また、トカラ列島の悪石島と子宝島を境（渡瀬線）に、動植物の分布が大きく異なることが定説となっています。さらに、奄美大島や徳之島に取り残された生物は独自の変化を遂げ固有種となっています。

奄美大島と徳之島は、非火山性の高島（最も高い山地の標高が200m以上）であり、中央部の山地林に多くの固有種が生息しています。標高の低い場所にはオキナワウラジログシなど亜熱帯性の常緑広葉樹林が、その上部には暖温帯性の常緑広葉樹林が形成され、いずれもスダジイが優占する「シイの森」を形成しています。奄美大島では山が海の近くまで迫っており、その間に集落が形成されています。集落奥の山は、テルコ神（山幸の神）とナルコ神（海幸の神）が降り立つ、カミヤマ（神山）と呼ばれており、シイの森の深部は信仰の対象になっていたようです。

鹿児島県の屋久島環境文化村構想

（1990年）は、地域の自然環境との共生の中で育まれた生活文化を「環境文化」と呼び、地域づくりの基本理念とすることを国内で初めて提唱しました。この構想は、屋久島の世界自然遺産登録（1993年）のきっかけとなり、さらに国の環境基本計画の基本理念「共生と循環」にも繋がりました。また、奄美群島は、我が国初めての「環境文化型国立公園」（2017年）として指定されました。人と自然の関わりの中で形成された風景や風土を国立公園の価値として位置づけ守りつないでいくことで地域の環境文化を体験できる国立公園を目指しています。

屋久島と奄美群島は、環境文化を基本理念とする持続可能な地域づくりのトッランナーとなっています。

編集者

岩田治郎氏

（公財）屋久島環境文化財団評議員

「屋久島・奄美群島世界自然遺産の里と環境文化」
（2023年、鹿児島大学鹿児島環境学研究会）より編集



島の 楽しみ方

How to enjoy
Island travel

初めての島旅は、わくわくの反面、不安も付きものです。
島ならではの気候や注意点など、事前に知っておけば
役立つ情報をピックアップしました。



島へのアクセスは空路と海路の2つがあります。プランに合わせて
選びましょう。



※海路の場合、天候によっては到着港・出発港が変更になる場合があります。
海が荒れるなど天候が悪い日は、事前に船会社に確認するなど情報を得ま
しょう。



6月下旬～10月頃までは、台風が発生しやすい時期です。台風に
よる船や飛行機の欠航で帰れないことも考慮し、余裕を持った計
画を立てましょう。



各島ではバスの運行本数や時刻による制限があるため、効率よく
動けるレンタカーの移動が基本です。



アクティビティは事前予約がおすすめ。雨天時には実施できないこ
ともあり得るので、屋内の観光スポットも探しておく◎



島の日差しは強いので、日焼け止めは必需品です。日焼けで肌に負
担がかからないよう、こまめに塗りましょう。海に入る場合はラッシュ
ガードの着用をおすすめします。

※環境に優しい日焼け止めを推奨



島の綺麗な海を楽しむために、潮の満ち引き時間を参考にして
出かけましょう。離岸流や高波、毒を持った生物、急に水深が深く
なるなど危険もあります。



一部の飲食店やお土産屋などの店舗では、現金のみの店舗もあり
ます。ATMも多くありませんので、余裕を持って現金も準備するこ
とをおすすめします。

基本ルール・マナー

Basic rules and etiquette for island travel

私たちは人類共通の宝として、この自然や文化的な遺産を後世に「守り伝えていく」
という大きな責任があります。まずは島のルールを知り、マナーを守ることに取り組ん
でみませんか？

いつでも
安全運転を

人はもちろん、野生動物の飛び出しに注意し、常に安全運転を心がけましょう。危
険な運転によって、多くの希少動物が犠牲になっています。

ごみの
ポイ捨てはしない

環境の悪化以外にも生態系への影響も心配されます。野生動物の餌付けや水質
汚染につながるため、自分のゴミは自分で持ち帰りましょう。

動植物を
持ち帰らない

「ちょっとだけ」の気持ちで植物を採取することが、自然の連鎖に影響を与えるこ
とがあります。また、同様に外来種の持ち込みは禁止されています！
※採取や持ち込みを規制する法律や条例がある場合もあります。

トイレは
事前に

公衆トイレが少ない地域があります。事前に済ます、携帯トイレを持参するなどして
対応しましょう。

喫煙マナーを守ること

歩きタバコやポイ捨ては絶対にしないでください。喫煙は必ず決められた場所で。

野生動物に
エサを与えない

絶対にエサを与えてはいけません。エサを与えると、本来の習性を失い、生態系バ
ランスが崩れることがあります。一定の距離をとり、ルールを守って観察しましょう。

ツアーガイドと
巡ろう

ガイドなしでは、訪れることの出来ない場所もあります。地域のマナーや自然を熟知
しているガイドとツアーを楽しみましょう。

屋久島



屋久島の登山道は長く、危険な箇所もあります。また、山の天候は急変する
可能性があります。安全に登山を楽しむには、軽装での登山は大変危険です。
※登山グッズ、雨具は現地でレンタルできますが、事前予約をおすすめします。

〈登山の心得〉

- 事前に情報収集し、体力に合わせて山選び ●ガイドの同行 ●十分な装
備、行動食、水の用意
- 登山の際には、安心で安全な自然体験を将来にわたって保全する為「世界
自然遺産屋久島山岳環境保全協力金」の納入をお願いしています。
 - 基本額(日帰り入山の場合)…… 1,000円
 - 山中で宿泊予定の入山の場合…… 2,000円

奄美大島 徳之島



〈ハブ〉

猛毒のあるハブが山はもちろん、道路や河川敷、集落内など身近なところ
にも生息しています。観光スポットでも草木があるところには、ハブがいると心
構えをしておいたほうが良いでしょう。長袖・長ズボンで素肌を出さず、周りを
しっかり見て歩くよう注意してください。

〈利用ルール〉

貴重な動植物を保護するため、世界自然遺産地域である奄美大島の金作原
や徳之島の山クビリ線、剥岳林道は認定エコツアーガイドの同行が求められてい
ます。また、奄美大島の湯灣岳は、山頂付近の保全ゾーンへの無許可での立ち入
りが規制されている他、三太郎峠は、夜間通行の際に事前予約が必要です。



屋久島

鹿児島市から南に約135kmに位置する屋久島は、標高2,000mに迫る山々と海岸部から山頂まで多様な自然植生を擁する島です。原生林には樹齢数千年の巨樹が生育し、その生命の息吹が森全体に宿るようです。縄文杉や宮之浦岳（九州最高峰）、白谷雲水峡など、また、森が育んだ水が作りだす、川・滝・海などの絶景が見どころです。その稀有な自然美と生態系が評価され、1993年に日本初の世界自然遺産として登録されました。多彩な自然が広がる屋久島は、訪れる人々を魅了し続けています。



高嶺岳(豆腐岩)



永田浜



口永良部島



西部林道高台



西部林道



ヤクシマザル



世界自然遺産登録区域 屋久島国立公園区域(陸域) 原生自然環境保全地域 屋久島国立公園区域(海域)

屋久島の自然が学べる施設



屋久島環境文化村センター

屋久島の自然文化に関する情報の提供・交流・案内の拠点施設。屋久島の自然や文化について多様な情報を提供。

〒891-4205 熊毛郡屋久島町宮之浦823-1
開館時間:9:00~17:00(展示ホールへの入場は16:30まで)
休館日:毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は翌日)。
4/29~5/5、7/20~8/31までは休館日なし
年末年始(12/28~1/1)
電話番号:0997-42-2900



屋久島世界遺産センター

屋久島世界自然遺産と屋久島国立公園の魅力を紹介。また、環境保全の取り組み、登山の際のマナーなど幅広く学べる。

〒891-4311 熊毛郡屋久島町安房前岳2739-343
開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日:年末年始(12/29~1/3)
電話番号:0997-46-2992



屋久杉自然館

屋久杉のすべてを知ることができる! 屋久杉と屋久島の林業の歴史のみならず、島の自然や文化も伝える博物館。

〒891-4311 熊毛郡屋久島町安房2739-343
開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日:毎月第一火曜日(5月・8月を除く)および年末年始(12/29~1/1)
電話番号:0997-46-3113



千年の命が息づく場所

森&山

島の約90%が森林の屋久島。苔むす巨木たちは悠久の時を刻み、柔らかな霧が幻想的な世界を織りなす。そこには、古代から続く生命の息吹と、訪れる人々の心を癒す静寂が満ちている。自然の神秘に触れてみませんか。



ヤクスギランド

標高1,000m付近に広がる270haもの自然休養林。千年杉や、くぐり杉などの巨木も多い。



宮之浦岳 標高が1,936mで九州最高峰、日本百名山では最南端の山。淀川登山口からは片道約8キロ、往復所要時間は9～10時間。



白雲水峡

コケが繁茂する原生的な森と溪流が見られる自然休養林。幻想的な「苔むす森」や屋久島の山々を一望できる「太鼓岩」が人気。



西部林道

島の西側、栗生・永田集落を結ぶ海岸沿いの道路の通称。広大な照葉樹林が続く「緑のトンネル」と呼ばれ、野生のヤクシマザルやヤクシカが見られる。

「水の循環」を感じる

川&海

屋久島に降り注ぐ大量の雨は、無数の沢をつくり、森を潤し、川となって里に注がれ、海に流れ出て行き、また雨となって循環していく。神秘的森も、多様な生態系も、里の営みも、この島の全てが、「水の循環」によって存在している。



千尋の滝 V字谷を流れる落差約60mの滝。幅約200mもの巨大な花崗岩の一枚岩から流れ落ちる水の姿は圧巻。雨の後など増水しているときは、さらに迫力のある滝の姿が見られる。

安房川

屋久島で最も長い川。河口上流には、照葉樹の覆う深いV字渓谷が続く。縄文杉へ向かうトロコ道の脇を流れる川としても有名。



大川の滝 日本の滝100選にも選ばれた、島の代表的な滝。落差約88mから勢よく流れ落ちる水しぶきは爽快そのもの。

永田浜

屋久島北西部の永田集落に位置する「前浜」、「いなか浜」及び「四ツ瀬浜」の総称で、北太平洋最大のアカウミガメの産卵地。



マリンアクティビティ

屋久島の美しい海を満喫。シュノーケリング、ダイビング、SUPなどのマリンアクティビティも充実している。約千種もの魚類が生息する美しい海で特別な体験ができる。



リバーカヤック・SUP

リバーカヤック・SUPの主なエリアの安房川は、屋久島の壮大な自然を満喫することができる。交通アクセスも良く、家族連れでも楽しめる。

YAKUSHIMA ACTIVITY
自然を楽しむ
アクティビティ



トレッキング

登山やトレッキングは、屋久島の魅力を存分に味わえるアクティビティ。経験豊富な方から初心者向けまで、コースも豊富。



エコツアー

屋久杉の巨木が立ち並ぶ森での森林浴やヤクシカなどの野生動物の観察など屋久島ならではの魅力的なツアーがたくさん！

屋久杉と共に歩んできた 島の歴史



屋久島森林生態系保全センター提供

小杉谷集落

屋久島の森林伐採の拠点として、最盛期には500人を超える住民が生活していた。最後まで存在した小杉谷集落は昭和45(1970)年に閉鎖したが、事業所・小中学校跡などの遺構は現在も残っている。また、かつて山中で伐採した木々を搬出するために使用されたトロッコ軌道を、現在は登山道として使用している。



屋久島森林生態系保全センター提供



体験



箸づくり(杉の舎(本店・仙人村))



アロマスプレーづくり(やわら香)

屋久杉を使った体験

屋久島のシンボルともいえる屋久杉を使い、様々なものづくり体験ができ、島の思い出として持ち帰れる。杉の優しい香りに癒されるアロマスプレーづくり。風合いと木目を生かし、自分で磨き上げるキーリングづくり。箸づくりでは、千年の屋久杉素材を削って自分だけの一膳を。

屋久杉磨き(YAKUSHIMA BLESS)

平内海中温泉



平内の海岸にある海中から湧き出た温泉。干潮時の前後約2時間だけ姿を現す珍しい温泉。自然の地形をほぼそのまま利用している。少し熱めのお湯。紺碧の海や満天の星を眺めながらの入浴は最高。

海の幸

伝統と旬。島の贈りもの!

屋久島グルメ

Gourmet

山の幸



トビウオ

日本有数のトビウオ水揚げ量を誇る屋久島。季節ごとに違ったトビウオが捕れ、一年を通じて漁が行われている。



ジビエ料理

屋久島の豊かな森で育った野生の鹿を使った料理。焼肉やハンバーガーなどでも楽しめる。



首折れサバ

首を折ってシメたサバは身が締まり、鮮度が長持ちする。現在では漁獲量が減り、出会ったらは非食べてみてほしい。

Yakushima
Gossou



屋久島では、地元の食材を使用した魅力ある食事「屋久島ごっそう」を楽しむことができる。「屋久島ごっそう」には、屋久島の魚介類、牛、柑橘類、野菜が使われている。そんな「屋久島ごっそう」を提供するおすすめのお店を紹介している。※ごっそう:ご馳走のこと

Yakushima Mono

屋久島限定アルコール

屋久島の原生林に濾過された名水で仕込む、屋久島島内限定販売のアルコール。焼酎とリキュールがあり、屋久島でしか買えない商品をぜひお手に取ってみては。



屋久島茶

屋久島の地形と温暖差のある気候は、良質な茶づくりに最適。屋久島の清らかな水を使い、有機栽培が盛んに行われている。生産量が少なく、希少価値が高い。



屋久島のたんかん

2007年に「かごしまブランド」に認定。芳醇な香りやバランスの取れた甘みと酸味が特徴。



里めぐり

各集落独特のくらしや歴史・文化に触れることができる。地元の歴史、文化、自然、産業などを地元の語り部が説明しながら案内。普段体験できないこと、歩いてみなくては気づかないこと、に出会えるかも。



屋久島里めぐり
推進協議会

エコツアーガイド

Eco tour guide

奄美大島

エコツアーは訪れる地域の自然・歴史・文化に直接触れ、理解を深めることができる体験型観光です。初めての方もリピーターの方も、安全で充実した旅を楽しむためにガイドツアーがおすすめ！ガイドツアーをご検討の際は、お気軽にお問い合わせください。



屋久島町エコツーリズム
推進協議会



奄美群島広域事務組合
奄美大島認定エコツアーガイド



奄美群島広域事務組合
徳之島認定エコツアーガイド

屋久島

屋久島は
日本の原風景を残し、
自然と人々の
共生の島です。

世界自然遺産の森から
多様性の海まで自然の魅力をお伝えします。

亜熱帯の北限に位置する屋久島の里は冬でも温暖で、アカウミガメは北半球最大の産卵上陸地であり、海中はサンゴや有数の魚種の多い多様性の海です。

山間部は千年を超える屋久杉の森の「自然美」と標高1,936m宮之浦岳までの植物の「垂直分布」は自然遺産として評価され、多くの人々を魅了しています。また年間9,000ミリを超える山の雨は独特の地形を作り、激しい滝や澄んだ水が至る所に見られます。

この屋久島の自然の原風景を維持していくため、持続可能な観光経済活動としてエコツアーを推奨し数十年が経過、今なお共生共存を目指して取り組んでいます。

Navigator

中馬 慎一郎さん

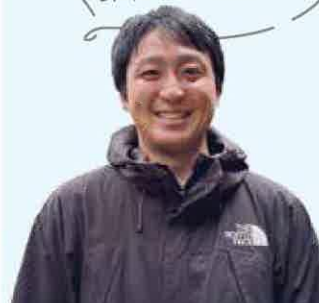
屋久島で生まれ育ち15歳で島を出る。本土で生活しながら山や海に行くたびに、改めて屋久島の自然の素晴らしさに気づき30歳で帰島。山と海と里の長い歴史の中で生まれた山岳信仰やその他風土、風習、自然との共生について学ぶ度に益々島の魅力に引かれ、今も様々な学びを得ながらガイド業を20数年営んでいる。



屋久島第2峰の『永田岳』。1,886mから望む東シナ海、洋上アルプスと呼ばれる島の頂上からは、周りの島々や大海など大迫力の景色を見渡すことができる。

各島の魅力をエコツアーガイドから聞きました！

訪れるたびに
新たな感動と発見に
出会えるのが奄美の魅力！



Navigator

高橋 周作さん

秋田県出身。2017年より奄美大島に移住。環境省奄美群島国立公園管理事務所にアクティブレジャーとして入省。任期満了後、奄美の自然をより多くの人に伝えたい思いからエコツアーガイドに転身。島の方言で「きよらむん(美人)」という言葉があり、そこから「美しい生き物」という意味を込めて「キョラモンガイドツアー」を起業。

太古から受け継がれてきた
自然を次世代に残していきたい

奄美大島は、太古から受け継がれてきた豊かな自然と、多様な生き物たちが魅惑の島です。山、海、マングローブと、ガイドブックを開けば魅力的なアクティビティが豊富で、何を体験しようか迷うのも楽しみの一つ。自然との共生を大切にしてきた歴史を持つ奄美は、「環境文化型」という他の国立公園にはない特徴を持ち、2021年世界自然遺産にも登録されました。アマミノクロウサギをはじめとする希少種を守りながら、次世代に素晴らしい自然を残していくためには、奄美を訪れたみなさんの協力が不可欠です。動植物は持ち帰らず、ガイドと一緒に探検し、心いっぱい思い出を持ち帰っていただきます！

『奄美自然観察の森』は季節によって、ルリカケスやアカヒゲなどバードウォッチングを楽しめる他、展望台から龍郷湾の絶景を見ることができる。



徳之島をまるごと体験して
“未知”に出会う楽しさや深まる魅力を実感！

徳之島は、島の中央部に山々がそびえ、それらを囲むように広がる農地と豊富な水に恵まれた農業が盛んな島です。亜熱帯の森には、世界的にも珍しい固有種や希少種などを含め様々な動植物が数多く生息・生育しており、生物多様性の豊かさが評価されて2021年には世界自然遺産にも登録されました。約3万年前から人が暮らし、森の中、集落の中など至る所で豊かな自然と共に暮らしてきた人々の歴史や文化、暮らしの知恵などが感じられます。一方で、野生生物の交通事故、農業の食害など自然と人の暮らしが近いが故の課題も多くあります。徳之島のありのままを知り、体感し、島を愛する人々と出会い、島の魅力の深さを思う存分満喫してください！

多様な豊かな地質がつくり出す景観の中でも、特徴的なスポットの一つが『ムシロ瀬』。花崗岩がむしろを敷き詰めたように広がる景色は一見の価値あり！



徳之島は、地質や
野生動植物だけでなく
人も集落も多様性の
豊かさが魅力！

Navigator

常 加奈子さん

徳之島



生まれも育ちも徳之島。短い教員生活の後に水族館勤務(サンゴ調査補助と解説員)を経て、自然や生きものの魅力にはまる。海・川・森と循環する自然の営みに深く感動し、その中で生かされていることを実感。自分が学び感じたことを人に伝え、ともに考え楽しむことが私にできる環境保全だと確信し、ガイドを志す。



奄美大島は鹿児島県本土と沖縄県の間に位置し、独自の自然環境が特徴です。太古に大陸から孤立したことで、多くの固有種が棲み、アマミノクロウサギやリリカゲスが代表例です。年間2,800mm以上の降雨により、亜熱帯性の豊かな森が広がり、希少な動植物の棲みかになっています。また、温暖な黒潮の影響で海には多くのサンゴや魚が棲み、ウミガメの産卵地にもなっています。山と海が多様な生命を育む自然の宝庫です。



土盛海岸



大島海峡



湯湾岳公園



野生生物保護センター



- 世界自然遺産登録区域
- 緩衝地帯
- 奄美群島国立公園区域(陸域)
- 奄美群島国立公園区域(海域)

※世界自然遺産登録区域及び緩衝地帯は、主に奄美群島国立公園に指定されています。



節田の立神



住用川(モダマ自生地)



フナギョの滝



金作原 スタジイやイジュなどの常緑広葉樹を主体とした森林。巨大なヒカゲヘゴなどの亜熱帯植物が茂り、国指定天然記念物のルリカケスやキノボリトカゲなど、稀少な生物も生息している。



ヤドリ浜

瀬戸内町の東側、大島海峡の入り口にある、白いビーチが広がる海水浴場で家族連れにもぴったりのビーチ。海辺には南国植物「アダン」が生い茂る。



奄美自然観察の森

奄美特有の植物、野鳥、昆虫などの観察ができる森林公園。亜熱帯広葉樹が茂り、自然観察園や昆虫の森などのほか360度見渡せる展望台もある。



四級親水公園

自然の川の流れを生かした「公園」。四級とは、親水公園のある地名。真夏の猛暑もここを訪れると季節を忘れるほどの涼しさで、涼を求めて訪れる人も多い。



エコツアー／ナイトツアー

植物や生き物が好きな方におすすめなエコツアー。夜のナイトツアーでは、アマミノクロウサギなどの夜行性動物や星空が見られる。豊かな森で自然の神秘に触れてみよう。



マリンアクティビティ

透明度抜群！美しい海を満喫できるマリンアクティビティ。ダイビング、シュノーケリング、サーフィン、ウインドサーフィン、SUP、シーカヤックと種類も盛りだくさん。1年を通して楽しめる。



マングローブパーク

奄美市住用町のマングローブ原生林は、国内2番目の広さ。満潮、干潮時で表情を変え、観察できる生き物も違ってくる。カヌーに乗って探索しよう！



ホエールウォッチング

奄美大島近海には、冬になると繁殖のためにザトウクジラがやってくるため、ホエールウォッチングが楽しめる。奄美大島のホエールウォッチングはとても人気が高く、時期は1月～3月頃。

奄美大島の自然が学べる施設



奄美パーク

奄美群島の自然や文化、歴史を紹介する「奄美の郷」と、日本画家、田中一村の作品が展示される「田中一村記念美術館」の2施設を中核とする、奄美群島の観光拠点。

〒894-0504 奄美市笠利町節田1834
開館時間：9:00～18:00(7月・8月は9:00～19:00)
入館は、閉館時間の30分前まで
休館日：毎月第1・第3水曜日(祝日の場合は翌日) (4/29～5/5、7/21～8/31、12/30～1/3は開館)
電話番号：0997-55-2333



奄美大島世界遺産センター

展示室では奄美大島の森と生きものを再現。実際のフィールドにいるかのような体感・観察ができるほか、自然を守る取組やルールを学ぶことができる。

〒894-1201 奄美市住用町石原467-1
開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：平日木曜日・年末年始(12/29～1/3)
電話番号：0997-69-2281



奄美海洋展示館

「海と人との共生」をテーマに、奄美の人びとの暮らしと海との深い関わりを知ることができる施設。ウミガメや熱帯魚がゆったりと泳ぐ大水槽も設置されている。

〒894-0046 奄美市名瀬小宿大浜701-1
開館時間：9:30～18:00(入館は17:30まで)
休館日：年末年始(12/31～1/1)
※メンテナンスの日の休館日あり(6月、12月の中旬3日間)
電話番号：0997-55-6000



アマミノクロウサギミュージアム くるぐる(QuruGuru)

国の特別天然記念物アマミノクロウサギの保護や研究などを目的に開設。「くるぐる」は「黒々とした」という意味の奄美大島の方言。

〒894-3104 大島郡大和村大字思勝字502-1
(2025年4月のオープンを予定)



世界自然遺産
奄美トレイル
Amami World Heritage Trail

世界自然遺産奄美トレイル～そこにしかない自然、文化、そして人との出会い～

奄美群島の8つの島をつなぐ長距離の自然歩道「世界自然遺産 奄美トレイル」。「トレイル」は歩く旅を楽しむためにつくられた道のことで、歩くスピードで旅をすることでその地域の自然や文化を深く感じることができます。亜熱帯の森や白い砂浜、サンゴの石垣のある集落など、奄美群島ならではの自然や文化にふれあうことのできるコースを地域の方々と一緒に選びました。自然や人とのつながりを感じる旅をしてみませんか。



AMAMI OSHIMA area



大島紬

鹿児島県を代表する伝統的工芸品である大島紬。特徴は泥染による深く洗ひ風格と、気品のある艶、繊細な縞模様。着崩れせず、しなやかに肌に馴染むので、広く愛されてきた。耐久性も高く日本を代表する伝統的な絹織物となっている。



大島紬着付け・泥染め体験

大島紬の制作には多くの工程があり、その中の一つである「泥染め」や、着付け体験ができる。

黒糖焼酎

奄美黒糖焼酎は、奄美群島内の24の蔵元でしか製造が認められていない世界的に希少価値のある焼酎です。さとうびを加工してできる黒糖と米麹を主原料にしている「和製ラム」とも言われている。ラム酒のような旨味とすっきりした甘み、やさしい香りが特徴です。現地で蔵元ごとの飲み比べをしたり、お土産としてもおすすめです。



工場見学

奄美群島の酒造会社では黒糖焼酎の工場見学ができる所もあります。予約が必要な蔵元もあるのでお問い合わせを。

自然の恵み、島のごちそう!

奄美大島グルメ

Gourmet



鶏飯

奄美大島を代表する郷土料理「鶏飯(けいはん)」。



油そうめん

豚肉と野菜、そうめんを炒めた郷土料理。炒める時にだし汁を入れるのが特徴。

マグロ、魚介類

奄美大島最南端にある瀬戸内町はクロマグロ養殖が盛ん。『せとうち海の駅』のシーフードレストランでは鮮度抜群の養殖クロマグロ丼が食べられる。



島唄を楽しめるお店

奄美大島には、郷土料理を楽しみながら島唄を体験できる店もある。聞くだけでなく、一緒に唄い踊りながら楽しめる。

守り継がれる奄美の心、自然を敬い、人を結ぶ



島唄

奄美群島の伝統文化である島唄。独特の高音の歌声と、三線による弾語り特徴。哀愁やわびしさを感じさせるものが多い。

ローカルラジオ

奄美大島は、地元コミュニティFM局を聴取できる「ラジオの島」でもある。島口(シマグチ)で語られ、島で暮らす人々も多く出演する。集落ごとに方言や訛りが異なるので、レンタカー内で島の言葉や音楽に触れるのも面白い。末広市場内にある「あまみエフエム」の放送所は、ガラス越しにオンエア光景を眺めることができる。タイミング合えばラジオ番組に飛び入り参加ができるかも?!



(あまみエフエム)



秋名アラセツ行事(ショチョガマ祭り・平瀬マンカイ)

アラセツは龍郷町の秋名集落で旧暦8月初の丙の日に行われる祭事で早朝にショチョガマ祭り、午後から平瀬マンカイが行われる。ショチョガマとは、山の中腹に建てた片屋根のことで、田や畑の神々への豊作祈願を行い、太陽が東の山の上に出る直前に揺すり倒す。平瀬マンカイは、神平瀬と女童平瀬と呼ばれる二つの岩を舞台に、唄の掛け合いなどで、海の彼方(ネリヤ)の神々への祈願を行う。



八月踊り

それぞれの集落で旧暦8月の祭事に踊られるもので、チダンという太鼓のリズムに合わせて男女がかけあいながら歌い、輪になって踊る。例年8月に開催される奄美市の「奄美まつり」では集落ごとに踊りが披露され、会場は熱気に包まれる。

Amami Mono



地ビール AMAMI GARDEN

地ビール

島で作る、「島ならではのクラフトビール。島バナナを使ったものもある。



ミキ

奄美群島で伝統的に作られる乳酸菌発酵飲料。米+さつまいも+砂糖を発酵させて作る。



黒糖

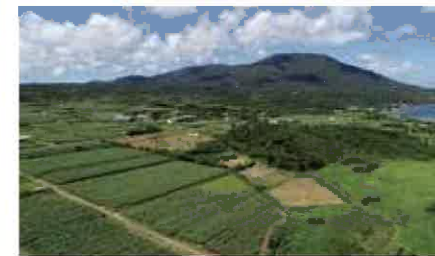
奄美大島は黒糖の産地として有名。全国にもファンが多く、お土産にぴったり!

徳之島

奄美群島の中央に位置する徳之島は、豊かな自然と独特の生態系が魅力の島です。天城岳や犬田布岬を中心とする山地にはスダジイやオキナワウラボシなどが茂り、アマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミなど、希少な動植物が数多く生育しています。この森を巡れば、徳之島ならではの生命の営みに触れることができるでしょう。周囲の台地にはサトウキビ畑が広がり、海岸には波の浸食で生まれた奇岩や花崗岩の「ムシロ瀬」が続きます。多彩な自然の表情が訪れる人々を魅了します。



ヨナマビーチ



井之川岳



阿樺集落300年ガジュマル



犬田布岬



金見崎ソテツトンネル



集落歩き

本土とは異なる気候や自然環境に合わせ、独自に発展した生活文化や古い形式が色濃く残る徳之島の集落。ガイドによる案内も行っている。



- 世界自然遺産登録区域
- 緩衝地帯
- 奄美群島国立公園区域(陸域)
- 奄美群島国立公園区域(海域)

※世界自然遺産登録区域及び緩衝地帯は、主に奄美群島国立公園に指定されています。

徳之島のことが学べる施設



徳之島世界遺産センター 道の駅とくのしま

2024年12月に開所した「世界遺産センター」では島の豊かな自然を紹介している。また同じ敷地内には奄美群島で2箇所目となる「道の駅」もオープンし、新たな観光拠点となっている。



世界遺産センター

〒891-7425 大島郡徳之島町花徳 2206
開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日: 平日火曜・年末年始(12/29~1/3)
電話番号: 0997-84-0726

道の駅 営業時間: 9:00~18:00 定休日: 水曜日
とくのしま 電話番号: 0997-81-6111



道の駅とくのしま



天城町歴史文化産業科学資料センターユイの館

天城町にある歴史民俗資料館。縄文時代から現代まで、徳之島の歴史や産業の変遷が学べる。奄美に根づくユイの精神についても学ぶことができる。町立図書館も隣接。

〒891-7611 大島郡天城町大字天城439-1
開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日: 平日月曜・年末年始(12/29~1/3)
電話番号: 0997-85-4720





TOKUNOSHIMA 徳之島の自然 area

いんじょうふた
犬の門蓋

徳之島空港から約15分。天城町の中心地である平土野(へとの)を抜け農道を進んでいくと景勝地「犬の門蓋」が現れる。東シナ海に面する海岸線一帯、季節風や荒波によって浸食されてきた断崖・奇岩が所々に点在している。隆起サンゴ礁が長年にわたる浸食によって創られた「メガネ岩」(洞門が眼鏡をくり抜いたように見えるため)も奇岩の一つ。海と空が見渡せて夕日がとても綺麗な観光スポット。

巨岩や地層など徳之島ならではの
ダイナミックな自然



ミヤトバル

不思議な巨岩や洞窟が連なるミヤトバル。塩を作るために隆起性珊瑚の潮溜まりを削り、広大な潮の干場として利用していた。



金見海岸

メランジ堆積物

1億年以上をかけて隆起したメランジ堆積物を約10数万年先の琉球層群が覆っている。琉球列島の成り立ちを考える上でも貴重。金見海岸や犬田布海岸で見られる。



ムシロ瀬

サンゴ礁の岩の多い奄美群島では珍しく花崗岩が広がる。ムシロを敷き詰めたように見えることからその名が付けられた。



ウンピキ

鍾乳洞の沈下で400m先の海底とつながり、出来た海底洞窟から海水が流れ込んだ。陸の地下水・川の水が混ざり特殊な環境が形成されている。



ホエールウォッチング



マリンアクティビティ

徳之島の手つかずの海を思いっきり満喫。おすすめはスノーケリングとスクューバダイビング。冬場限定のホエールウォッチングも注目。



エコツアー

深い森へ稀少な生き物たちに会いに行こう。認定ガイドがないと、入れない場所もあるので注意。知識をもったガイドと島をめぐることで、自分たちだけでは気がつかない島の魅力に出会える。



闘牛の歴史

400年以上続く徳之島の伝統文化。農閑期に島民の疲れをいやす「なくさみ(慰み・慰労)」として親しまれていた。昭和42年に徳之島町、伊仙町、天城町の協会をまとめ「徳之島闘牛連合会」が設立された。現在ではタイトル戦・記念大会などが年に20〜30日ほど開催される。



徳之島なくさみ館
(闘牛資料館)

闘牛の歴史や牛の角の種類、勝負の決まり手など闘牛について学ぶことができる。大会が行われていない時でも闘牛場の見学が可能。

自然が育む至福の味!

徳之島グルメ Gourmet

Tokunoshima Mono

黒糖焼酎

黒糖焼酎は、鹿児島県の奄美群島のみで製造が認められているお酒。特産品として広く愛されている。



ざわ
世界自然遺産記念ラベル
樹徳美大島にしかわ酒造
奄美酒類㈱



きらめきの島
奄美酒類㈱

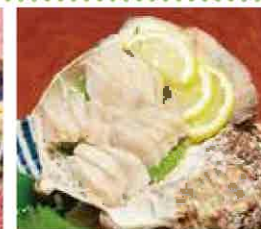


マルシカ
南松永酒造場
奄美酒類㈱



ワンフネ

豚肉とじゃがいもなどを黒糖焼酎や黒糖、醤油で煮込んだ郷土料理。粘度の高い「赤土」で育った徳之島産じゃがいもは、味も抜群。



夜光貝

古くからアクセサリや螺鈿細工に使われる貝。徳之島では身を食用として、刺身、味噌漬、バター炒めなどで食べられている。



徳之島コーヒー

徳之島では、年間平均気温が高く四季を通じて温暖多雨の気候を活かし、コーヒー豆を生産している。甘くて香ばしい香り、澄んだ味わいが特徴。

	奄美大島・徳之島のイベント・伝統行事	屋久島のイベント・伝統行事	奄美大島・徳之島の動植物	屋久島の動植物	奄美大島・徳之島の旬の食べ物	屋久島の旬の食べ物
1月	徳之島闘牛大会(全島一大会)(徳) 	屋久島一周ウルトラエコマラニック	コゴメキノエラン(1月) ヒカンザクラ(1月) トクノシマテンナンショウ(1月～2月)		アオサ(1月～4月上旬) アカエビ(イセエビの本種) (1月～4月・9月～12月) ヤコウガイ(1月～4月・9月～12月)	
2月	奄美ヨリヨリラン(奄)	屋久島ヒルクライム サイクリング屋久島 	アマミアセビ(2月～3月) ミヤビカンアオイ(2月～4月) タニムラアオイ(2月～4月)		たんかん(2月～3月上旬) じゃがいも(2月～3月)	たんかん(2月～3月) ばれいしょ(2月～4月)
3月		宮之浦春祭り	アマミセイシカ(3月～4月) アマミエビネ(3月～4月) トクノシマエビネ(3月～4月)		ヤクシマオナガカエデ (3月) ヤクシマキイチゴ (3月～4月)	
4月	黒砂糖祭り(徳)	屋久島ふるさと産業祭り ※時期が変わる可能性があります	アマミスマレ(4月～5月) コンロンカ(4月～7月) アカショウビン(4月～10月)		ヤクシマスマレ(4月～6月) ヤクシマミヤスマレ(4月～6月)	
5月	浜下れ(ハマオレ)(奄) 徳之島闘牛大会(全島一大会)(徳)		ヤドリコケモモ(5月) モダマ(5月) ワダツミノキ(5月) アカウミガメ(5月～7月) エリグロアジサシ(5月～9月)		ヤクシマアジサイ(5月～6月) ヤクシマシャクナゲ(5月下旬～6月上旬)	トビウオ(5月～6月) 茶(5月～11月)
6月	トライアスロンIN徳之島大会(徳) (6月下旬～7月上旬)(徳) ずもフェスタ(奄)	安房如竹祭りと六月燈	キバナノセッコウ(6月～7月) アマミアワゴケ(6月～7月)		ヤクシマトンボ(6月～7月) ヤクシマコオトギリ(6月～8月) シャクナンガンビ(6月～8月)	パッションフルーツ(6月～7月) マンゴー(6月～7月) パッションフルーツ(6月～7月)
7月	龍郷ふるさと祭(奄) 奄美シーカヤックマラソン IN加計呂麻島(奄) あまぎ祭(徳)		クスクスラン(7月) サガリラン(7月) オナガエビネ(7月～8月)		ヤクシマカラスザンショウ(7月～8月) ヤクシマツツジ(7月～9月)	パッションフルーツ
8月	奄美まつり(奄) あやまる祭り(奄) 三太郎まつり(奄) ひらとみ祭り(奄) 瀬戸内町みなと祭り(奄) 井之川夏目踊り(徳) 亀徳ネンケ(徳)	【旧暦8月初丙】 秋名アラセツ (ショチョガマ・平瀬マンカイ) 【旧暦8月初丙】アラセツ、八月踊り 【アラセツ後の王】シバサン 【旧暦甲子】ドング 【旧暦8月15日他地域により前後する】豊年祭 【旧暦8月15日】油井豊年踊り	屋久島ご神山祭り ドラゴンボード大会 やくしま夏まつり		ヤクシマザル(8月～9月) ヤクシカ(8月～9月) ヤクシマザル(8月～9月) ヤクシマゴガエル(8月～10月) ニホンヒキガエル(8月～10月) オカヤドカリ(8月～10月) ヤクシマサワガニ(8月～10月) ヤマシギ(8月～10月) カケス(8月～10月)	グアバ(8月～9月中旬) 島バナナ(8月～9月) マンゴー(8月) ドラゴンフルーツ(8月～10月) ハンダマ(8月～12月)
9月	下久志十五夜祭り(徳) 【旧暦9月9日】諸鈍シバヤ	十五夜綱引き 岳参り 	サンバ(9月～5月) ハマトラノオ(9月～10月) リュウキュウスズカケ(9月～10月) アカハラダカ(9月～10月)		ホソバハグマ(9月～10月)	青パパイヤ(9月～11月) 首折れサバ(9月～11月)
10月	徳之島闘牛大会(全島一大会)(徳) どんどん祭(徳) 【旧暦10月16日】ムチモレ踊り	屋久島夢祭り	トリガミネカンアオイ(12月～1月) ザトウクジラ(12月下旬～4月上旬)		ハナヤマツルリンドウ(10月) カンツワブキ(10月～12月) クワイバカンアオイ(11月～3月)	アカマツ(10月～4月) ホタ(アオダイ)(10月～4月) アカマツ(ハマダイ)(10月～5月)
11月	やけうちどんと祭り(奄) ぼーらい祭(徳) 【旧暦11月庚】フユウンメ	益救神太鼓年越祭			トビニヤ(11月～5月)	シマアジ(11月～1月) かわひこ(11月～3月)
12月					ソデイカ(12月～2月)	ぼんかん(12月～1月)

通年

アマミクロウサギ
ケナガネズミ
アマミトゲネズミ
トクノシマトゲネズミ
ハブ
アマミシカワガエル
アマミハナサキガエル
オットンガエル
シリケンイモリ
アオウミガメ
オカヤドカリ
アカヒゲ
アマミヤシギ
ルリカケス
オーストンオオアカゲラ
オオトラツグミ

通年

ヤクシマザル
ヤクシカ
アオウミガメ
ヤクシマタゴガエル
ニホンヒキガエル
オカヤドカリ
ヤクシマサワガニ
ヤマシギ
カケス

3島周遊プラン

TOKUNOSHIMA → AMAMI OSHIMA → YAKUSHIMA

1日目

鹿児島空港 → 徳之島空港

8:50発 9:50着

ダイナミックな自然・景観をドライブ!

- 犬の門蓋
- ムシロ瀬
- 阿伝集落のカジマル

2日目

文化を体験

- 関牛のお世話体験
- 徳之島なくさみ館
- 徳之島世界遺産センター

エコツアー体験

ジビエカフェ とうぐらでランチ

徳之島空港 → 奄美空港

16:45発 17:15着

奄美空港 → 名瀬港

16:30発 20:30着

シマ唄ライブは大体19時ごろからスタート!

ホテルでゆっくり過ごしたり、シマ唄ライブを楽しめるお店で文化体験もおすすめです!

3日目

AM 自然が学べる施設にも立ち寄ろう

PM 湯湾岳展望台からの絶景と大島海峡の海は格別の青さ!

●マングローブでカヌー体験(1時間)

●金作原ツアー(3時間)

ランチ 鶏飯はいかが?

●奄美市内から1時間程の宇検村・瀬戸内町エリアへ!

湯湾岳・ヤドリ浜・四級親水公園

ナイトツアー前に腹ごしらえ&天気が良ければサンセットも

ナイトツアー(2~4時間)

4日目

AM マリンアクティビティ(2~3時間)

●奄美大島の文化体験! 奄美パーク・泥染め・大島紬着付け体験(2時間程)

ランチ 海が見えるカフェもあります!

PM ●大和村エリアへ! (フクギ並木、アマミノクロウサギミュージアム)

●黒糖焼酎蔵見学(1時間程)

市内の酒屋さんでは角打ちもできる♪ ※ハンドルキーパー注意

翌日飛行機移動の場合は、もう1泊

名瀬港 → 鹿児島港

21:20発

船内を満喫! フェリーの中でシャワールームの利用も可!

フェリー内のレストランは営業時間が終了しているため、食事は乗船前に済ませるか、購入し乗船しましょう!

5日目

奄美空港 → 鹿児島空港

8:45発 11:10着

ドライブ&文化を体験!

- 西部林道
- 世界遺産センター
- 永田浜
- リバーカヤック
- 屋久杉を使った体験

鹿児島空港 → 徳之島空港

8:30発 10:10着

徳之島空港 → 奄美空港

10:10発 12:55着

宿でゆっくり♪

- 温泉
- 食事
- 翌朝のトレッキングの為に早めに就寝

6日目

ドライブ&自然を体験!

- 環境文化村センター
- 屋久杉自然館
- 白谷雲水峡やヤクスギランド
- 滝(大川の滝、千尋の滝)

鹿児島港 → 鹿児島空港

19:00発 19:35着

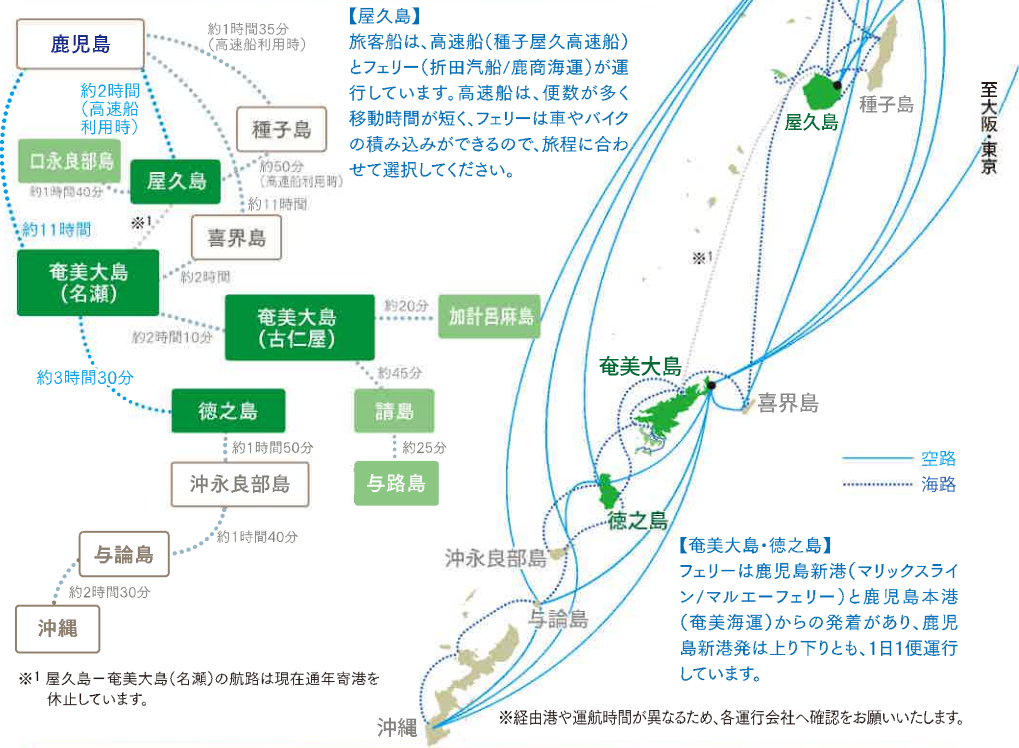
鹿児島港 → 鹿児島空港

16:00発 18:00着

※令和7年2月時点の情報です。最新の情報は、各交通機関へご確認をお願いいたします。

ACCESS

フェリーでのアクセス



飛行機でのアクセス

屋久島空港へ	大阪(伊丹)/JAL	約1時間50分
	福岡/JAL	約1時間10分
	鹿児島/JAL	約40分
奄美空港へ	東京(羽田)/JAL	約2時間30分
	東京(成田)/APJ	約2時間55分
	中部国際空港/SKY	約3時間(鹿児島空港乗り継ぎ)
	大阪(伊丹)/JAL	約1時間50分
	大阪(関西)/APJ	約2時間
	福岡/JAL	約1時間10分
徳之島空港へ	鹿児島/SKY	約1時間
	沖縄(那覇)/JAL	約1時間
	鹿児島/JAL	約1時間5分
	奄美大島/JAL	約30分
	沖永良部島/JAL	約30分